

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	観音崎公園		
所在地	横須賀市走水2丁目・鴨居3丁目・4丁目		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/kannonzaki/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和50年4月）		
指定管理者名	神奈川県公園協会・京急サービス共同事業体		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横須賀土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況がB評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったため、3項目評価はA評価となった。 利用状況は、天候不順による一部イベントの中止等もあり、目標を達成できなかった。しかしながら、利用者の満足度は、問合せ等にも丁寧に対応し、円滑な公園利用を案内したことにより、極めて良好だった。また、収支状況についても、利用促進費に替えて、植物管理費を増やす工夫があり、良好であった。 今後も、公園の自然環境に配慮した植物管理、自然と歴史資源を活かした利用促進の取組及び地域やボランティアと連携した公園づくりの継続した取組が望まれる。 <各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 観音崎公園の貴重な自然や歴史的遺産を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組を行いながら管理運営にあたっている。 維持管理に関しては、地元ボランティアなどと協力し、希少植物の保護、施設補修などの取組が行われている。 利用促進に関しては、天候不順によるイベント等の中止もあったが、積極的に実現可能なイベントを順次開催していった。 周辺施設との連携に関しては、観音崎公園連絡協議会を開催し、横須賀美術館、観音崎自然博物館、Park-PFI事業者等と意見交換、連携する場を設ける取組が継続して行われている。 ◆利用状況 公園利用者数は対前年度比で104%であったが、目標達成率で95%に留まったため、B評価となった。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が94%であったため、S評価となった。 ◆収支状況 概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が約103%となったため、A評価となった。 ◆苦情・要望等 公園利用者からの問合せ・要望にも、丁寧な対応が行われている。 ◆事故・不祥事等 なし ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2ヵ月に1回程度	「月例報告の確認」に併せて適宜現地に赴き、施設の管理運営状況の実態を確認。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	一年に1回	県と指定管理者との間で連絡協議会を開催し、施設の管理運営上の課題等について、意見交換や情報共有等を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
植物管理にあたっては、各植物の特性及び生態系に配慮した維持管理を行う。 また、美しい眺望による景観づくりに取り組むとともに、巨木化や過密化が課題となっている樹林地の安全確保を図る。	日常管理に加え、展望広場の支障木の剪定・伐採を行い、眺望を確保した。 また、住宅との隣接部の樹林地の支障木の剪定・伐採を継続して行い、来園者や近隣住民への事故を未然に防いだ。 また、ヤスデの大量発生により、近隣住民からの落ち葉清掃や薬剤散布要望に対しても、真摯に対応した。	継続して樹木伐採等を行うことで、適切に樹林地管理を行っている。今後も継続して取り組まれることを期待する。
法定点検は法令に基づいて実施することとする。また、来園者の安全を確保するため、保守点検は、日常点検、定期点検及び臨時点検を行う。なお、点検時に異常を発見した場合は、速やかに修繕等の必要な対応を行う。	日常点検、定期点検に加え、臨時点検にて照明の不点灯を発見し、順次、照明灯の修繕を行った。 また、大雨警報発令時には夜間待機やパトロールを実施して安全を確認した。	来園者や従業員等の安全確保のため、今後も継続して取り組まれることを期待する。
利用促進において、公園の自然や歴史等の魅力を活用した多彩なプログラムを展開する。	3月・4月・5月・6月・8月・10月・11月に、三浦半島にゆかりのある講師等を活用して、公園の自然・歴史を学ぶガイドツアー等を実施し、参加者から好評であった。（参加者数115名） 2月下旬に、さくらまつりを開催し、参加者から好評であった。（参加者数15,500名） 地域の歴史を知るガイドツアーは雨天のため中止となった。	地域の特色を生かした取り組みを実施しており、利用促進等に貢献している。今後も継続して取り組まれることを期待する。
日中の管理員による巡視に加えて、パークセンター・森のロッジ・ボランティアステーションに機械警備を実施することで、常に事故等の未然防止に取り組む。	通常の管理に加え、ゴールデンウィークや夏期に巡回警備を実施して、事故防止に努めた。	来園者や従業員等の安全確保のため、今後も継続して取り組まれることを期待する。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
三浦半島の横須賀で採れる肉・魚・野菜などの地元食材を提供する。	イベント開催時に、利用者サービスの一環及び食を楽しめる新たな魅力の創出を目的として、キッチンカーの出店を行った。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》
B	目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	728,456	784,744	819,629
対前年度比		107.7%	104.4%
目標値	842,000	850,000	859,000
目標達成率	86.5%	92.3%	95.4%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞
公園利用者数は対前年度比で104%であったが、目標達成率で95%に留まったため、B評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	年2回実施した詳細アンケートの結果を使用する。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 204 / 209 = 97.6%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	130	61	4	7	2	204	・催しが少なくなってさみしいです。 ・駐車場の料金が場所によって違う。
回答率	63.7%	29.9%	2.0%	3.4%	1.0%		
前年度の回答数	154	56	3	4	0	217	
前年度回答率	71.0%	25.8%	1.4%	1.8%			
回答率の対前年度比	90%	116%	142%	186%	0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が約94%であったため、S評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	98,336	0	29,938	駐車場：26,941 自販機：2,997	128,274	128,274	0	
	決算	98,336	0	34,751	駐車場：32,497 自販機：2,254	133,087	127,791	5,296	104.14%
前年度	当初予算	98,622	0	30,477	駐車場：27,480 自販機：2,997	129,099	129,099	0	
	決算	98,622	0	35,032	駐車場：32,419 自販機：2,613	133,654	131,444	2,210	101.68%
令和6年度	当初予算	98,465	0	31,016	駐車場：28,019 自販機：2,997	129,481	129,481	0	
	決算	98,465	0	39,114	駐車場：35,842 自販機：3,272	137,579	133,524	4,055	103.04%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数		(単位：千円)
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /

＜備考＞ 概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が約103%となったため、A評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	12 件	気温が上昇し、ヤスデが大量発生するため、公園の境界部に薬剤散布してほしい。 草木が繁茂しているため、草木の処理をしてほしい。	好天時境界部に薬剤散布した。 速やかに、草刈・剪定を実施した。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。